オールインワン通信

Vol. 1
2022

SFTSガイドブック

監修：松鵜 彩 先生

動物病院におけるSFTS対策

『SFTSとは』

重症熱性血小板減少症候群（SFTS:Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome）はマダニを介してヒトや動物に感染しますが、発症動物からヒトへの感染も報告されており、近年ではイヌやネコからヒトへの直接感染事例も報告されている人獣共通感染症（ズーノーシス）です。

『SFTS感染動物が来院した際の対応』

SFTS症例（疑似症例含む）に遭遇した場合の動物病院の対応としては、まずは入院措置が推奨されます。飼い主に対しては、発症した動物からの咬傷歴について確認し、14日間は飼い主全員の健康状態に注意してもらった上で、同居動物の屋内飼育の呼びかけや飼い主自身マダニに噛まれないよう注意喚起を行います。

『SFTS感染動物からヒトへの感染を防ぐ』

動物病院でSFTSに感染したイヌやネコの治療をする際には、飼い主や家族への感染拡大を防ぐことも重要であり、診療している獣医師や動物看護師自身も感染しないように十分な注意が必要です。実際にSFTSを発症したイヌやネコと接触した飼い主、獣医師や動物看護師が感染し、発症した事例が複数確認されています。

病院内の措置としては、来院した動物のSFTS感染が疑われた時点で、症例に触れるスタッフ全員が個人防護具（PPE）を装着し、院内を70%アルコールや0.5%次亜塩素酸ナトリウム液で消毒（診察台や処置台、入院ケージ、タオル類、トイレなど）することが推奨されます。また、SFTS感染動物が死亡した場合の死体の取り扱いにも十分注意が必要（ペットシーツなどで包み、さらにビニール袋で3重に包む簡易棺桶等の箱に入れ、さらにビニール袋で覆い消毒液を掛ける、など）です。死体の取り扱いに関して不明な点は、各自治体に問い合わせて確認したほうが良いでしょう。

■PPE装着図
（P.17）
©BIAHJ

内部寄生虫検査法アトラス

監修：佐伯 英治 先生

内部寄生虫検査法

『糞便検査法の種類』

内部寄生虫の検査には一般的に糞便検査法が実施されます。動物病院で実施される糞便検査法は特別な操作を必要とせず、速やかに鏡検することができる直接薄層塗抹法（以下、直接塗抹法）であることが多いでしょう。それに比べ、浮游法（自然浮游法、遠心浮游法）や沈殿法などの集卵法は集卵に手間がかかるため、なかなか実施する機会がありませんが、その検査精度は直接塗抹法に比べて明らかに高くなります。

浮游法を実施する際に使用する浮游液にはそれぞれ長短があり、どれが最善かは一概には決められません。しかし、実際には飽和食塩水と硫酸亜鉛溶液が広く使われており、特に後者は遠心浮游法でも使用することができ、便利です。遠心浮游法の通常手順ではゴミが多く残ることがありますが、簡易ろ過法を手順に加えることで観察が容易になります。簡易ろ過法には特別な器具は必要でなく、茶こしや使い捨て容器があれば実施できるので、比較的手軽に検査に取り入れることができます。

『プレパテントピリオドと寄生虫卵の特徴』

また、糞便検査の実施や、駆虫プログラムを考える際に大事なのはプレパテントピリオドです。プレパテントピリオドは『寄生虫が感染してから虫卵等の次世代を排出するまでの感染初期の期間』のことで、この期間は虫卵が排出されていないため、糞便検査を行っても虫卵が見つかりません。内部寄生虫の種類とその感染経路によりプレパテントピリオドは異なるので、注意する必要があります。また、もう一つ大事な点は、全ての内部寄生虫が虫卵として排出されるとは限らないということです。例えば糞線虫類ではラブジチス型幼虫として排出されるものもあります。

実際に、糞便検査で寄生虫卵を観察する際には、各寄生虫卵の大きさや形を知っていることで、正しい寄生虫検査結果を得ることができます。正しい寄生虫検査を行い、より正確な寄生虫感染症の診断とその治療につなげましょう。

■プレパテントピリオド
（P.14）

種　類	学　名	経口感染	その他の感染経路
犬回虫	*Toxocara canis*	28～35日（4～5週）	乳汁感染：35～42日（5～6週） 胎盤感染：21～28日（3～4週） 待機宿主の捕食：30日～
猫回虫	*Toxocara cati*	55～60日	乳汁感染：35～42日 待機宿主の捕食：30日～
犬小回虫	*Toxascaris leonina*	犬：48～88日 猫：48～77日	待機宿主の捕食 犬：56日～ 猫：35日～
犬鉤虫	*Ancylostoma caninum*	15～26日（3週前後）	乳汁感染：10～14日 胎盤感染：10～14日 経皮感染：17～21日
猫鉤虫	*Ancylostoma tubaeforme*	14～21日（2～3週）	——
犬鞭虫	*Trichuris vulpis*	74～87日（80日前後）	——
壺形吸虫	*Pharyngostomum cordatum*	25～34日	——
瓜実条虫	*Dipylidium caninum*	14～21日（2～3週）	——
マンソン裂頭条虫	*Spirometra erinaceieuropaei*	7～10日	——
猫条虫	*Taenia taeniaeformis*	6～9週（7週前後）	——
多包条虫	*Echinococcus multilocularis*	26～30日（4週前後）	——

各種資料に関してはベーリンガーインゲルハイム担当者または日本全薬工業株式会社担当者までお問い合わせください。

Boehringer Ingelheim ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン㈱
ZENOAQ 日本全薬工業株式会社

202207

オールイヌワン通信 2022 VOL.1

ひとりひとりの小さなアクションで救える命がある

愛するペットのノミ・マダニ対策が、保護犬・保護猫のいのちを救うことにつながります。

活動紹介ムービー▼

SAVE PET PROJECT

主な2つの活動

2010年より**“犬・猫用駆虫薬”**および**“デンタルケア製品”**の売上の一部を寄付し、犬猫の幸せのための活動に取り組んでいます。

マイクロチップリーダーの寄贈

累計で516台
（2022年7月時点）

公益社団法人 日本獣医師会様へ委任

保護犬・保護猫の医療費サポート

10,257頭分
72,774,783円
（2022年5月集計）

公益社団法人 アニマル・ドネーション様へ委任

2022年6月1日より、ブリーダーやペットショップ等で販売される犬や猫について、マイクロチップの装着が義務化されました。

ブリーダーやペットショップ等で購入した犬や猫にはマイクロチップが装着されており、飼い主になる際には、御自身の情報に変更する必要があります（変更登録）。さらに、他者から犬や猫を譲り受けて、その犬や猫に御自身が獣医師に依頼してマイクロチップを装着した場合には、御自身の情報の登録が必要になります。

◀犬と猫のマイクロチップ情報登録サイトはこちら

◀環境省が発行しているパンフレットはこちら

Boehringer Ingelheim ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン㈱
ZENOAQ 日本全薬工業株式会社

202207